

令和6年3月5日～7日

鳥羽市議会会議

一般質問通告者一覧表

発言通告者	議席番号	5 番	氏 名	南 川 則 之
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 新型コロナウイルス感染症などへの市の対策について</p> <p>新型コロナウイルス感染症が国内で初確認されてから4年が経過した。昨年5月に感染症法上の5類に移行したが、冬に入ってから新たな変異株が急増し、流行「第10波」が立ち上がりつつある。</p> <p>一方で、国は、ワクチンを4月から有料化し、治療薬代や入院費の公費支援も3月末で終了する方向である。厚生労働省は、インフルエンザなどと同じ通常の医療体制への移行を目指しており、新型コロナウイルスの医療費の自己負担は増える見通しである。そこで以下の点について問う。</p> <p>① 新型コロナウイルスワクチン接種の予防接種法上の位置づけについて</p> <p>② 新型コロナウイルスワクチン接種の状況について</p> <p>③ B類疾病である高齢者のインフルエンザワクチン接種について</p> <p>④ 今後の新型コロナウイルスワクチン接種体制について</p> <p>⑤ 今後の新型コロナウイルスの医療費などの公的支援について</p> <p><市長、副市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	5 番	氏 名	南 川 則 之
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 本市の入札制度について</p> <p>公共工事入札契約適正化法に準じて、市が発注する建設工事に係る入札などは、適正な執行と公表が必要である。また、公共工事設計労務単価は、令和5年3月から全国全職種単純平均で前年度比5.2%引き上げられ、平成25年度の改訂から11年連続の引き上げとなり、公共工事の品質確保の面からも本市の入札制度の見直し及び適正な予算確保が必要である。そこで以下の点について問う。</p> <p>① 条件付き一般競争入札について ② 鳥羽市等級別格付について ③ 鳥羽市建設工事等に係る公表について ④ 公共工事設計労務単価、燃料費、資機材等の価格上昇について ⑤ 鳥羽市建設工事等入札参加資格審査について ⑥ 令和5年度及び今後の建設工事等の発注について</p> <p><市長、副市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	9 番	氏 名	戸 上 健
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 能登半島地震の教訓を受けて本市の防災強化策をどう進めるか</p> <p>石川県防災対策本部は能登半島地震による死者の 9 割近くが建物倒壊による圧死と発表した。鳥羽市も例外ではない。市民の関心が高まっている今、木造住宅耐震化事業を抜本強化すべきときではないか。防災に関して住宅耐震化に絞って以下の諸点について聞く。</p> <p>① 市長は消防出初式で「防災は急務となっている」と式辞された。能登半島地震の教訓から本市の木造住宅耐震化促進をどのように認識しているか。</p> <p>② 市の令和 3 年 7 月作成の「鳥羽市建築物耐震改修促進計画」(第二次計画)によれば令和 7 年度までに耐震化率 81%と設定している。進展状況はどうか。国の 95%目標に対してあまりにも低い強化改善策をどう考えているか。</p> <p><市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	9 番	氏 名	戸 上 健
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 物価高に苦しむ市民の暮らし向上について</p> <p>市民の生活苦の改善は地方自治体の緊急課題になっている。そこで以下の諸点について聞く。</p> <p>① 伊勢市は本年9月からの子ども医療費窓口無料化を決めた。医療費無料化の18歳までの枠拡大も全国の大勢になっている。国保国庫負担減額調整（ペナルティー）も24年度から18歳までを対象に廃止になった。その財源も活用して全国水準に近づけるときではないか。本市の対応はどうか。</p> <p>② 高すぎる国保税、介護保険料について引き下げて家計を守ってほしいとの住民の声が高まっている。とくに赤ちゃんにまで均等割を課税する国保税について市として本腰を入れた改善が必要ではないのか。本市の対応はどうか。</p> <p><市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	9 番	氏 名	戸 上 健
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 市職員の待遇改善について</p> <p>市職員の待遇改善について以下の諸点について聞く。</p> <p>① 市業務を担い不可欠の存在である会計年度任用職員の待遇改善に対し、国は 24 年度から勤勉手当支給、給与改定については 23 年度 4 月から遡及適用を指示した。本市の会計年度任用職員の待遇改善はどうか。</p> <p>② 保育士 1 人が受け持つ子どもの人数を定めた職員配置基準が 76 年ぶりに見直される。本市の方向性はどうか。</p> <p><市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	9 番	氏 名	戸 上 健
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 女性支援新法の具体化について</p> <p>「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」が成立し、市町村は努力義務として基本計画策定が求められた。本市の取り組みと具体化について次の諸点を聞く。</p> <p>① 新法の目的・基本理念として「女性の福祉」「人権の尊重や擁護」「男女平等」の視点が明確に規定された。市長の所見はどうか。</p> <p>② 法は2024年4月1日施行だが本市の取り組みの現状はどうか。</p> <p>③ 新法施行に即して女性相談支援員の活動と処遇の改善はどうか。</p> <p>④ 女性活躍推進法に基づく市職員給与の男女格差について平均年収の男女差（非正規職員を含む）はどれだけか。男性平均年収、女性平均年収を問う。</p> <p>⑤ ジェンダー平等は地域共生社会を掲げる本市にとって積極的に取り組むべき課題であると考えているが市長の所見はどうか。</p> <p><市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	1 番	氏 名	世 古 雅 人
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 令和5年6月、9月、12月会議における一般質問での市長等答弁等に対する進捗状況とその後の対応等について</p> <p>私の政治理念は市民の声を市政に届けることである。昨年6月、9月、12月会議において、市長の重点施策、防災・危機管理、定期船の欠航関連、人口減少対策、子育て支援など私に直接いただいた市民の声を一般質問で届けた。この一般質問に対して市長等が答弁された内容がそれ以降どのように対応してきたのかなど、現在の進捗も併せて、市民に届ける必要がある。</p> <p>そこで、以下の点について問う。</p> <p>① 市長の「重要施策の内、特に力を入れている事業」について ・「市道森崎村山線道路拡幅工事」の進捗状況と嵩上げによる冠水やその地域の排水問題をどう考えているか。</p> <p>② 「台風や豪雨による冠水等の危険箇所の情報伝達方法」について ・監視カメラの提案に対する進捗状況と調査、検討はどうか。</p> <p>③ 「災害時や警報発表時における町内会等への避難所運営の協力」について ・避難所運営の協力体制と地域との連携の考えは。 ・能登半島地震から学ぶ今後の課題や対策は何か。</p> <p>④ 「保育所児童（2歳児以下）の母親の出産による途中退所」について ・規定の見直しへのその後の協議や検討について、経過と進捗状況は。</p> <p><市長、副市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	10番	氏名	木下順一
<p>件名及び 要旨</p>	<p>○ 南海トラフ地震等大規模災害への備えについて</p> <p>能登半島地震では、揺れや津波等で家屋等が倒壊し、多くの尊い命が失われ大きな被害となった。また、道路等の寸断崩落により孤立集落も多数発生した。</p> <p>本市においても、南海トラフ地震等大規模災害が危惧され、備え・対策をしておくことが重要となる。そこで、本市の被害想定を基に災害予防・減災対策などについて以下の点を聞く。</p> <p>① ライフラインの寸断、孤立集落の早期解消に向けた対策について</p> <p>② 避難場所・避難所の指定、運営等の課題・対策・支援について</p> <p>③ 受援が必要な担当課の業務内容と受入体制について</p> <p>④ 倒壊家屋等の解体について</p> <p>⑤ 災害廃棄物処理について</p> <p>⑥ 応急仮設住宅の建設用地確保等について</p> <p>⑦ 事前復興準備の検討等について</p> <p><市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	6 番	氏 名	濱 口 正 久
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 鳥羽市職員の処遇及び職場環境の整備について</p> <p>鳥羽市における市職員の人材の確保は深刻であり、特に専門職である技術、保健、保育、船員の人材の確保は喫緊の課題である。職員の働き方はそのまま市民サービスにつながることから、より良い市民サービスを行うためには職員の処遇改善と職場環境の改善が必要と考える。</p> <p>そこで、以下の諸点についてきく。</p> <p>① 鳥羽市役所の職場環境の現状について ② 市役所の今後の人材確保と人材育成について ③ 鳥羽市役所の職場環境改善と処遇改善にかける市長の思いは</p> <p><市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	6 番	氏 名	濱 口 正 久
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 若者及び子育て世帯の定住支援につながるまちづくりについて</p> <p>鳥羽市における少子高齢化は、担い手の不足により地域活動の維持にも影響を及ぼしている。特に若者及び子育て世帯の減少は将来の鳥羽市にとって深刻な課題となっており、人口が減少する中でも若者及び子育て世帯の定住を促進し、人口バランスを整えることが重要であると考えます。</p> <p>そこで、以下の諸点についてきく。</p> <p>① 転入・転出の現状について ② 転入・転出の課題について ③ 鳥羽市における現在の住環境整備の施策について ④ 公営住宅の利活用による若者及び子育て世帯の増加の可能性について ⑤ 若者及び子育て世帯の支援につながる住環境の整備について、市長の考えは</p> <p><市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	13番	氏名	世古安秀
<p>件名及び 要旨</p>	<p>○ 南鳥羽地域の観光振興策について</p> <p>コロナ禍後における鳥羽市の観光客の入り込み状況はまだまだコロナ前には届いていない。特に小規模宿泊事業所では厳しい状況である。そこで小規模宿泊事業所等が多い南鳥羽地域の観光振興策について問う。</p> <p>① 第二次鳥羽市観光基本計画の中における南鳥羽地域の位置づけについて</p> <p>② 春雨公園（菅崎園地）の環境整備について</p> <p>③ 旧校舎等を活用した観光活性化策について</p> <p>④ 海女文化を活用した地域活性化策について</p> <p><市長、副市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	7 番	氏 名	山 本 哲 也
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ これからの観光振興について</p> <p>コロナ禍以降、観光客数は徐々に回復傾向にあるがコロナ禍によって観光客の旅行スタイルやニーズは大きく変化した。多様化する観光ニーズに応えるために市観光振興・観光施策をより力強く、官民一体となり推進する必要があると考える。そこで、以下の点について聞く。</p> <p>① 鳥羽市の観光における課題について ② これからの観光振興について ③ 宿泊税の導入について</p> <p><市長及び担当課長></p>			